

この研修を振り返って

9日目 9月7日

経験に勝るものはなし

こんにちは、この9日間のニュージーランド研修において、清里学生グループの引率者を務めました、夏坂初です。このニュースレターを9日間にわたって書きましたが、この素晴らしい旅の締めくくりとしてメッセージを残させていただきます。

まずはじめに、日本とニュージーランドからこの研修をサポートしてくださった皆様に心より感謝申し上げます。今回の研修では、私たちが日本とニュージーランドの長い貴重な歴史と絆の一部になったことを強く感じました。ニュージーランドの友好協会には、3世代にわたってこのプロジェクトに参加している家族がいらっしゃいました。信じられないことであり、この事実を知った私はこの関係を続けるべきだと思いました。

生徒たちはみんなとても頑張っていました。彼らはいつも一生懸命で、良い生徒であり続けるためにお互いに協力していました。彼らはルールを守り、健康を保ち、持ち物に注意し、多くのことを学ぼうとしました。

そして、モトエカ高校の60人以上の生徒の前で日本についてのプレゼンテーションを行いました。明るく親切なモトウエカの生徒たちのおかげで、生徒たちは緊張していましたが、やり遂げることができました。私は外国の人に他の言語で何かを伝えることがどれほど難しいかを知っているため、彼らをととても誇りに思っています。

また、彼らが日本とニュージーランドの多くの違いを認識し、気づいてくれたことを嬉しく思います。他の国のルールに従うと、時には息苦しい思いをすることもあります。その経験が自分を成長させてくれるものでもあります。

同様に、海外でコミュニケーションを取ることの難しさと素晴らしさを痛感しました。最も重要なことは、流暢に話すだけでなく、心と心を伝えることです。私はそのことを私たちの生徒やモトエカの生徒から学びました。

英語教師としての私にとって、この経験は私の人生に大きな影響を与えました。私はこの旅行の前に、「できるだけ多くの人とコミュニケーションをとり、ニュージーランドの文化、価値観、人々について学び、得たものをすべて生徒たちに伝える」という目標を立てました。

私が話した人たちは皆とても親切で、私が知りたかったたくさんの素晴らしいアイデアをくれました。例えば、彼らキウイの言語が聞き取りにくい理由、彼らがマオリの文化についてどのように考えているか、彼らにとって自然環境がいかに素晴らしいか、そして最近どのような問題や悩みを抱えているのか。

いつかまたニュージーランドに戻って、出会った多くの人に感謝の気持ちを伝えたいです。そして文化をもっと知るために、次回はもっと滞在したいです。とにかく、「長く白い雲のたなびく地」アオテアロアで過ごした時間は決して忘れられません。キアオラ！

Photos of this trip







